

Weekly Rotary Report

東京八王子西
ロータリークラブ

●会長標語

会長 相川 博

よいことの
ために
手を取りあおう

RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ

●2025-26 年度
国際ロータリー
会長メッセージ

2025-26 No.9 令和7年12月12日

ロータリーで人生を豊かに

今週のプログラム

- 第 2844 回 (12/12)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*卓話

天神敏博会員
テーマ「病理学について」

次回のプログラム

- 第 2845 回 (12/19)
- 会場 京王プラザホテル八王子

*年忘れ家族例会



古代エジプト第 18 王朝
(B.C1403 ~ 1365)
石碑 (レリーフ)

人類とポリオの長い歴史
ポリオと人類の共存の歴史は古く、紀元前 13 ~ 14 世紀頃の古代エジプトのレリーフにもその痕跡が見られます。描かれた男性の片足が極端に細いことから、当時すでにポリオに罹患していた可能性が指摘されています。また、北海道洞爺湖町の入江貝塚から出土した約 4000 年前の女性の人骨も同様です。頭蓋骨に対し手足の骨が著しく萎縮しており、医療専門家でなくともその違いは歴然としています。

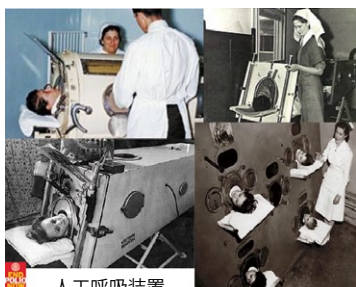


RI2750 地区 前ポリオプラス委員長 伊藤和生氏
(東京八王子北 RC パスト会長)

卓話「ポリオの歴史と現状」

時代は下り、アメリカのルーズベルト大統領もポリオ罹患者の一人でした。当時はメディアが未発達であつたため広くは知られていませんでしたが、彼は車椅子で生活し、執務を行っていました。

ポリオ (急性灰白髄炎) とは
正式名称は「急性灰白髄炎」ですが、日本では「小児麻痺」という名称で広く知られています。しかし、この名称が「子供だけの病気」という誤解を招くことがあります。実際には大人も発症します。ポリオウイルスが体内で増殖することで発症し、主な症状として手足の筋肉の麻痺や萎縮を引き起こします。重症化すると呼吸筋が麻痺し、自発呼吸ができなくなるため、かつては「鉄の肺」と呼ばれる人工呼吸器の中で一生を過ごすなければならぬ患者も多くいました。



人工呼吸装置
(鉄の肺)

重要な点は、感染者の約 0.1 %

(1000 人に 1 人) にしか麻痺症状が現れないということですが。残りの 99.9 % は無症状のままウイルスを保有し、他者へ感染させる「サイレント・キャリア」となります。つまり、1 人の発症者が確認された場合、その背後には約 1000 人の感染者が存在すると考えなければなりません。

感染経路と治療法

感染経路は「糞口感染」です。ウイルスを含む排泄物が口に入ることで感染するため、衛生環境の整った先進国では広がりにくい一方、環境の悪い地域ではリスクが高まります。最も厄介な点は、ポリオには特効薬や治療法が存在しないことです。唯一の有効な手段は、ワクチン接種によって事前に免疫を獲得することのみです。

日本における

ポリオの歴史と課題

日本では明治以降、周期的に流行していましたが、1961 年に当時の古井喜美厚生大臣による生ワクチンの緊急輸入という英断により、状況は好転しました。その後、全国一斉投与が行われ、1980 年には野生株根絶、2000 年には WHO (世界保健機関) により日本を含む西太平洋地域の根絶宣言が出

されました。

しかし、日本国内では 2012 年まで「生ワクチン」が使用され続けていたという課題がありました。生ワクチンは稀にワクチン由来のポリオ麻痺を引き起こすリスクがあります。実際、2012 年 9 月に確認された日本最後のポリオ罹患者は、ワクチン未接種の子供が、ワクチン由来ウイルスによって感染 (二次感染) した事例でした。現在は不活化ワクチンに切り替わり、こうしたリスクは軽減されています。

国際ロータリーの取り組み

国際ロータリーは 1985 年に「ポリオプラス・プログラム」を立ち上げました。「プラス」には、ポリオ根絶に加え、衛生環境の改善や平和の実現という意味が込められています。1988 年には WHO、UNICEF、CDC (米疾病対策センター)、RI が「世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI)」を発足させました。GPEI というものは何なのかと言いますと、世界中の子どもにポリオのワクチン投与を行き渡らせて世界からポリオを根絶しようというものです。それぞれ役割分担がありますが、RI の主な役割は、世界的な資金調達とアドボカシー (提唱活動) です。

2025 年 11 月 28 日

現在の状況と

支援継続の必要性

活動開始当初、年間35万人の感染者がいたポリオですが、皆様の努力により、2023年10月時点で感染者数は38人まで減少しました。常在国はアフガニスタンとパキスタンの2カ国のみです。

しかし、「なぜ残り数十人のために資金が必要なのか」という疑問に思われる方もいるかもしれません。その理由は、ウイルスが根絶されない限り、毎年生まれてくる子供たちにワクチンを投与し続けなければならないからです。もし今活動を止めれば、年間20万人規模の感染爆発（パンデミック）が再発すると予測されています。

また、2022年にはニューヨーク等の下水からポリオウイルスが検出されたり、航空機内で発見された事例もあります。世界中どこからでもウイルスが持ち込まれるリスクは常に存在しており、根絶宣言が出されるその日まで、手を緩めることはできません。

ワクチン投与の現状

ワクチンには、安価（1回数十円）で投与が容易な「経口生ワクチン」と、安全だが高価（数千円〜1万円）で医師による注射が必要な「不活化ワクチン」があります。理想は不活化ワクチンへの完全移行ですが、世界中の子供全員に行き渡らせる

には莫大な資金が必要です。現実的には、安価な生ワクチンを活用しながら根絶を目指すのが最善策とされています。

皆様へお願い

ポリオ根絶ということで皆様方には1人30ドルのご寄付をお願いしております。また、今日が締め切りですが、ポリオ根絶支援企業ということで、こちらは一口5万円の企業向けのご寄付のお願いになります。その企業の寄付控除にもなります。

「ポリオプラス・ソサエティ」というものが3年前から始まってあります。「ポール・ハリス・ソサエティ」というのは昔からあったと思うんですけども、あれは年間1000ドルのお願いだったんですけれども、「ポリオプラス・ソサエティ」はポリオに年間100ドル寄付をいただけませんか、というものになっております。こちらは総額が1000ドルなので、皆さん大体30ドルはいただいておりますので、例えばポリオ根絶のゴルフとか参加されている方は、そこでまた3000円いただいておりますが、通算で構いませんのでよろしく願います。

またまたですが、次年度ポリオプラス・ソサエティ・ユーディネーターに任命されておられまして、もしかしたらお願いに来るかもしれません。ぜひお付き合いいただきたいと思います。

例会報告

第2842回・2025・11・28（金）

◆司会

秋間勝仁会場監督補佐

◆開会点鐘 相川 博会長

◆Rソング 我らの生業

◆お客様の紹介

国際ロータリー第2750地区

前ポリオプラス委員長

伊藤和生様

（東京八王子北RCパスト会長）

東京八王子ロータリーアクトクラブ会長 矢込太郎様

◆食事と交歓 和食

◆出席報告

大田吉彦出席委員

会員118名中61名出席。

出席率54・46%。前々回11月

14日の出席率25・89%を64・29%に修正いたします。

◆ニコニコ発表

久保英生財務委員

◆会長挨拶 相川 博会長

*今日お話ししようと思つていた例の件ですが、例会内容がタイトなので、残念ですが先送りしたいと思つています。期待に応えられるようバージョンアップしておきます。

*11/14から16まで大分へ親睦旅行に行つてまいりました。無

事といえば無事なのですが、仕事で早く帰られた方と、おそらくインフルエンザであろう方がいらして、帰つてからかかった方も入れると計8名がインフルエンザになったようです。大変な思いをされたかと思ひ

ます。メインは2日目の夜のフグでした。都道府県条例により大分県では、フグの肝を食べることができません。大分のフグは豊後水道で育つたせい、かつつさが他のよりも身が厚く、噛み応えがあり、とても美味しかったです。女将が本店から車でご挨拶に駆け付けてくれました。その女将ですが、Judoのウォーカ

ルKEIKOさんのお母さんです。その女将が「立花さんのお父様には昔から本当にお世話になっている」と言つていたので、そこのお店をお使いになる時には、立花幹事に一声かけていただければと思います。

*11/11に開催されたクラブ代表者会議に三浦パストガバナーと二人で参加してきました。前年度の表彰を受けて参りました。ロータリー財団への寄付に関するパナーを2つと、会員基盤強化賞と、新会員オリエンテーション参加上位クラブの賞状をいただきましたのでご報告申し上げます。

◆幹事報告 立花 探幹事
*去る11/4に当地区パストガバナー舟木いさ子様のご逝去されました。12/22にお別れの会がございます。

*ピアノスト野口さんは手の疾患により演奏にドクターストップがかかりました。本日より小林碧葉さんと林亜華里さんが調整し合つて演奏することになりました。

*先日八王子5クラブ12月の例会予定を配信しました。

*台北国際大会のご案内を後日配信します。ご出席の方のみ返信をお願いします。国際大会の登録は各自でお願いします。ガバナークラスの登録はクラブでまとめていたします。

*来週12/5の例会終了後に年次総会を開催いたします。*メールボックスにウィークリー第8号を配布しました。

◆助成金贈呈

東京八王子ロータリーアクトクラブ 矢込太郎会長

◆登録証等贈呈

ポリオプラスソサエティ入会

金子裕二会員

◆スピーチ紹介

塩野明プログラム副委員長

スピーチ

国際ロータリー第2750地区

前ポリオプラス委員長

伊藤和生氏

テーマ「ポリオの歴史と現状」

謝礼贈呈

◆閉会点鐘 相川 博会長



●2025・11・28（金）

◆相川会長・伊藤パスト会長、ようこそ西クラブへ。喜寿・誕生日プレゼントありがとうございました。

◆立花幹事・伊藤和生様のお話楽しみにしています。本日よりピアノストの小林さんが演奏下さいます。よろしくお願ひ致します。

60周年実行委員会だより

NO.7

第7回実行委員会が11月28日(金)例会後に開催されました。

総務・財務部会から「チラシ」の原稿完成、何部印刷するかは正副実行委員長に一任すると決まった。予算案については引き続き部会からの最終提案を踏まえて作成をしていく旨の報告があった。

式典部会からは、前回委員会後、特別報告する事項はないが、準備は着々と進んでいるとのこと。事業部会からは、植樹の木種につき「ハルニレ」に変更したいとの報告とその理由が提案され承認された。予算については当初予算より安くなるということで、次回に報告ができるとのことでありました。

記念誌部会からは、各会員の顔写真を撮影(希望者のみ)と、12月の家族例会終了後、全員での記念写真を撮影し記念誌に掲載したいとの提案があり承認された。

歓迎部会からは、歓迎晩餐会(5/22)の「うかい鳥山」は奥の庭が見える部屋に決定したこと、通訳は確保できたことが報告された。又、台中担当の山口リーダーからは案内状を送付したこと、1月22日から24日まで台中を訪問しPRをしてることが報告された。ノンケム担当の市川リーダーからは、10月29日からタイを訪問し案内状を手渡してきたとのこと。現時点では6名の参加とホテル(マロウドイン)は自分達で確保したとの報告がありました。

今後相川年度の委員会事業において60周年の冠をつけた事業を希望する委員会は実行委員会へその旨の企画書を提出してもらうことを確認した。

次回実行委員会は令和8年1月16日(金)例会終了後に開催する。



創立60周年記念式典及び祝賀会

令和8年 **5月23日** (土) 午後4時より
於 京王プラザホテル八王子

◇池田・伊藤和生様、本日の卓話よろしくお願いいたします。
◇大石・三祝ありがとうございました。

◇山口・ポリオ一筋に伊藤和生様の卓話で勉強します。
◇三村・伊藤和生さんようこそ八王子西クラブへ。
◇塩野・本日の卓話楽しみにしています。

◇平岡・結婚祝いのお花をいただきありがとうございました。来年もいただける様、精進してまいります。

次年度
第61代会長

三村丸出航準備へ

理事会にて次年度理事・役員が決定し、12月5日(金)例会終了後の年次総会にて承認されました。三村丸が半年後の出航に向けていよいよ準備開始です。会員の皆様のご協力をお願いいたします。



2026-27年度 東京八王子西ロータリークラブ理事・役員

役員									
会長	三村 裕介	直前会長	相川 博	副会長	加藤 直也	会計	金子 裕二	幹事	田村 肇
副幹事	草間 剛	北澤 誠一	職業奉仕委員長	峯尾 光成	社会奉仕委員長	桼崎 雅彦	国際奉仕委員長	森崎 博之	新世代委員長
小川 妙子	プログラム委員長	塩野 明	親睦・家族委員長	秋間 勝仁	広報委員長	浅川 立憲			

イニシエーションスピーチ Initiation Speech

加賀美 剛 剛

2025年12月5日(金)

Kagami Tsuyoshi
加賀美 剛

金融業
株式会社山梨中央銀行八王子支店
支店長
2024年8月入会 親睦・家族委員会



本日は、イニシエーションスピーチの機会をいただき、誠にありがとうございます。

昨年8月に、歴史と伝統あるこの東京八王子西ロータリークラブに入会させていただきましたこと、この場を借りまして改めて御礼申し上げます。

偉大なロータリアンの諸先輩方にとって、私の話が何かのお役に立つとは考えていませんが、少なくとも私の人となりは理解していただけると

思いますので、しばしお付き合いいただければ幸いです。

私は、昭和46年9月9日に山梨県富士吉田市中で、技術系のサラリーマンだった父と家で機織りをしていた母の長男として生まれました。

私の加賀美という苗字は、母方の姓になります。

母は3人姉妹の長女で、生家を継ぐために父を婿養子として迎えました。

そういう経緯がありましたので、2人が結婚して初めて生まれた私が男子と分かった時は、親戚一同が大変喜んだと聞いております。

母が仕事をしていた関係で、日頃の私の面倒は祖母が主にしてくれました。祖母は38歳の時に私の祖父にあたる夫を亡くし、その後は女手ひとつで3人の娘を育て上げた活発な人だったので、幼いながらも祖母にはいろいろなところに連れて行ってもらったことを記憶しています。

その時住んでいた家には、叔母にあたる母の妹2人も同居していたので、父親以外は女性ばかりという環境の中で、甘やかされて育ちました。私の性格について親しい友人からは、のんき、お気楽、能天気と言われることが多いので

ですが、そのような幼い時の境遇が少なからず影響しているのかもしれない。

私は銀行の支店長の他に、山梨県から「やまなし大使」という観光大使のような役割を委嘱されておりますので、ここで少し私のふるさと、富士吉田市のことを紹介させていただきます。

富士吉田市は富士山の北麓に位置しており、富士山に一番近いまちと言われています。八王子と同じように織物の産地として知られたまちで、私が子供のころは市内の至る所で機織り機の音が響き渡っていました。

富士山のほかに、絶叫マシーンが有名な富士急ハイランド、富士山と五重塔の構図が日本を象徴しているということで、ミシュラン日本ガイドの表紙を飾った新倉山浅間公園などの観光スポットがあります。

私が子供のころは、まちの中で外国人を見かける機会はほとんどありませんでしたが、平成25年に富士山が世界文化遺産に登録されてから、富士五湖周辺を訪れる外国人観光客の数が急激に増加し、いまや至るところで外国人を見かける国際的なまちに様変

わりしています。

富士吉田でグルメと云えば、何といっても吉田のうどん。コシが強いというより「硬い」という表現が一番しっくりくる麺と、味噌としょうゆをベースにしたつゆ、甘辛く煮た馬肉と茹でたキャベツが定番の具材です。具材の肉が馬肉である理由ですが、かつて富士吉田市内には富士山に登る登山者の荷揚げ用に数多くの馬が飼われており、安く馬肉を手できたので馬肉を食べる文化が定着したと言われています。

富士吉田にはうどん屋さんほかに、美味しい馬刺しを売っている肉屋さんもたくさんあります。こちらも絶品なので機会があれば是非一度ご賞味ください。

吉田のうどんを食べやすく、すぐと成長した私は、昭和53年に地元の公立小学校に入學します。

小学生の時はテレビのクイズ番組が大好きで、クイズダービーやタイムショック、クイズ100人に聞きましたなどをよく見ていました。数あるクイズ番組の中でも一番好きだったのが、日本テレビの木曜スペシャルで放送されていた「アメリカ横断ウルトラクイズ」です。山梨の田舎で暮らしていた小学生にとって海外旅行は夢のまた夢。テレビで見えるグランドキャニオンやモニュメントバレーの雄大な景色、ニューヨークの摩天楼や自由の女神像に胸が躍りました。

一度はウルトラクイズに出場してみたいと思っていた私は、大学に入學してすぐに、東京ドームで開催されたウルトラクイズの予選会に出場しました。子供の時からテレビで見ていた司会の福留アナウンサーが、お決まりのフレーズの「ニューヨークへ行きたいか」と声を上げたときは、興奮を抑えることができませんでした。

1問目の○×問題は、東京ドームの1塁側と3塁側のスタンドに分かれて正解発表を待ちます。幸いにも1問目に正解した私はグランドにおいて2問目に臨みましたが、ここで不正解となり、残念ながらアメリカに行く夢はあつてなくなつてしまいました。

昭和59年に地元の公立中学校に入學。明るい性教育ドラマと言われている「毎度お騒がせします」を見て思春期の性に目覚めた私は、初めて女性のことが好きになりました。

いわゆる初恋です。

その子は男女6人のグループでよく遊んでいた中の一人です、当時の田舎の中学生としては珍しく洋楽が好きで、ポリスというバンドのボーカルだったスティングのファンでした。

歌謡曲にしか興味がなかった私は、その子と話を合わせるため、小林克也さんが司会で、現在まで放送が続いているベストヒットUSAというテレビ番組を見て、洋楽の歌手や曲名を必死で覚えましたが、私に一步踏み出す勇気がなく、個人的な交際に発展することはありませんでした。

高校は、中央高速道路の河口湖インターの近くにある山梨県立富士河口湖高校に進学します。地元の高校の中では進学校と言われていたので、入学した時から卒業後は東京の大学に進学したいと考えていました。

高校で選んだ部活はテニスです。

当時はバブル景気の最盛期で、河口湖や山中湖にはテニスコートがたくさんありました。夏になるとサークルの合宿と称して東京から綺麗な女子大生のお姉さんたちがたくさん来ていたので、大学入学後に楽しいキャンパスライフを送るにはテニスが上手くなるしかないと思った私は、小学校4年から中学3年まで続

けていたサッカーをあつさり諦めて、テニス部に入部しました。

テニスは、受験勉強との両立が難しくなってきた高校2年の秋まで続けました。少しでも早く綺麗な女子大生と楽しいキャンパスライフを送りたいと思っていて私に浪人という選択肢はなかったもので、中学まで続けていたサッカーと同じようにスパッとテニスを諦めて、受験勉強に集中することになりました。

私が住んでいた富士吉田市内に大学受験のための塾や予備校がなかったため、勉強方法はあくまで独学で、高校の先生に勧められた参考書や問題集をひたすらこなしました。当時は真つ暗なトンネルの中をひたすら進んでいるような感覚に陥ることもありましたが、今になって振り返ってみると、この時期に身に着けた忍耐力や集中力が、その後の人生の大きな支えになったことは間違いありません。先の見えないつらい日々の中で、息抜きになったのがテレビの深夜番組でした。両親が寝静まった後で、コンプライアンスの厳しい今の時代では到底放送できない内容の番組をこっそり見て、青春のモヤモヤを発散していました。

大学受験では本命だった国立大学に落ちてしまいました。が、運よく中央大学の法学部

に合格することができました。

中央の法科に入学できたというところで、両親は弁護士になつてくれるのではと淡い期待を抱いていたようですが、高校時代から綺麗な女子大生と楽しいキャンパスライフを満喫することだけを考えていた私にそんな気は全くなく、入学してすぐに夢だったテニスサークルに入会しました。テニスサークルといっても、

テニスよりも飲み会がメインのサークルだったので、高校の時にテニスを少しかじった程度のレベルの私でも、入会当初から先輩たちとほぼ互角に渡り合うことができました。テニスができて、お酒もいける方だった私は、高校生の時からの夢だったサークルライフを大いに満喫することができました。

大学時代はサークル活動とアルバイトに明け暮れていたもので、法学部でありながら法律の知識をほとんど身に着けることができませんでした。

大学4年の時には、アルバイトで貯めたお金で、友人2人とアメリカを東から西に横断する1カ月の旅行に出かけました。

ウルトラクイズを見ていた時に1度は訪れてみたいと思っていた、自由の女神、モニュメントバレーやグランドキャニオンをこの目で見たと

きの感動は今でも忘れられません。小学生の時の夢だったアメリカ横断を自分の力で達成したことで、学生時代に別れを告げて社会に出る覚悟が固まりました。

大学に入った時から卒業後は山梨に戻りたいと思っていたので、就職活動は山梨県内の企業に絞り、その中で真つ先に候補に挙がったのが、現在の勤務先の山梨中央銀行でした。

当時はバブル崩壊の影響で不動産や株価の下落が続く、銀行では不良債権問題が顕在化しつつありましたが、山梨中央銀行はバブルの時も堅実な経営姿勢を崩さなかったため不良債権が少なく、銀行の中では比較的経営が安定していました。

私が就職活動をしていた時期は就職氷河期の入り口でもあったので、銀行を志望する者も多かったと思いますが、幸いにもトントン拍子で面接が進み、無事に内定を得ることができました。

平成6年4月に山梨中央銀行に入行、最初の配属先は地元富士吉田市内の吉田支店でした。

全店の中でも1、2を争うような大きな支店で、多くの先輩方に囲まれて楽しく仕事をしていました。銀行に入社した翌年の3月に地元の富士山麓を大きく揺るがす衝撃

的な事件が起こります。オウム真理教による地下鉄サリン事件です。事件が起こる前、オウム真理教の拠点があった上九一色村の近くの国道を車で走っていた時に頭にヘッドギアのようなものをつけた白装束の一人を見かけることがありました。まさかあのようにな大規模なテロを起こす団体だとは思っていませんでした。

オウム真理教の事件が落ち着きを見せてきた平成9年4月、吉田支店で一通りの銀行業務を身に着けた私は、甲府市内の東支店に転勤となりました。

私が着任した東支店は、甲府市の東部のブドウ畑が広がるエリアに位置しており、取引先にはブドウ農家のお客さまがたくさんいらつしやつたので、収穫の時期になると食べきれないほどのブドウをよくいただきました。

山梨では、甲府盆地を中心とした県中西部を「国中」、富士五湖地方を含む県東部を「郡内」と呼びます。国中は果実農業が盛んで、ブドウと桃の収穫量は全国一なのです。が、私の出身地である郡内では、標高や気候の関係でブドウがほとんど取れなかったもので、お客さまから頂いた美味しいブドウを実家に持ち帰った時は非常に喜ばれました。農家の他には、貴金属やジュ

エリーを製造加工するお客さまが多いエリアでした。あまり知られていないかもしれないが、甲府市はジュエリー製品の国内出荷額が全国一位です。古来水晶の一大産地だった山梨では、江戸時代から明治、大正にかけて水晶の加工技術が磨かれ、その技術をジュエリーの製造加工に応用し発展してきたと言われています。

ジュエリー製品を販売する会社では、取引先向けに定期的にファクトリーセールを開催しており、その時は当時20代半ばの私でも手が届くようなジュエリーが並ぶので、当時お付き合ひしていた今の妻にピアスやネックレスなどをよく買っていました。

その甲斐あってか、東支店に勤務していた平成11年10月に無事に妻と結婚することができました。

その後甲府市内の2つの店舗に勤務し、2人の娘を授かった私は、平成17年10月、34歳の時に支店長代理に昇格して、八王子支店に転勤となりました。

その時は長女が幼稚園に入学したばかりのタイミングだったのですが、単身赴任することとも考えましたが、娘たちが4歳と1歳の可愛い盛りで家族と離れたくなかった私は、山梨に残りたいと言っていた妻を説得して、めじろ台駅の

近くにあった杜宅に家族で引っ越すことにしました。

私が八王子支店に着任した平成17年は、後にいざなぎ景気と言われる戦後最長の景気拡大期の真っただ中で、東京では土地の価格が上がり始めていました。山梨では地価の下落傾向にまだまだ歯止めがかかっていなかったため、八王子に出てきた私は東京と地方の景気の格差を痛切に感じるとともに、東京での営業に大きな可能性を見出しました。

八王子での仕事、生活に慣れてきた平成20年に、日本のみならず世界経済を大きく揺るがす深刻な事態が起こります。アメリカの投資銀行のリーマンブラザーズの経営破綻に端を発した世界的な金融危機、リーマンショックです。景気の急激な逆回転が起こり、資金繰りに窮する企業が増えたため、政府は金融円滑化法を施行し金融機関に様々な手法で企業の資金繰りを支援するよう求めました。

山梨中央銀行の取引先の中でも、優良企業と言われていた会社がいくつも倒産するほど急激に景気が悪化したので、八王子支店の後半はリーマンショックで苦しんでいたお客さまの資金繰りの支援に力を注ぎました。

八王子支店の後は、荻窪支店、立川支店、東村山支店と都

内の支店で営業のキャリアを積みました。

東村山支店の次に異動になった国分寺支店で、初めて支店長に任命されました。

銀行員は転勤辞令が出る、1週間から2週間の間に次の支店に異動しなければならず、それは支店長への昇格辞令が出たときも同じです。私は転勤辞令を受けるまで、自分が支店長になることを全く想定していなかったため、支店長としての心構えなど何も持たないまま、新しい支店に着任しました。

部下をグイグイと引っ張っていくようなリーダーシップを持ち合わせていない自分が、支店長としてどのよう

に部下に関わっていくべきか悩んでいた時に一冊の本に出会います。それは、スターバックスコーピーなどで社長を務めた岩田松雄さんという方が書かれた『「ついていきたい」と思われるリーダーになる51の考え方」という本です。

そこには「リーダーにとつて最も重要な資質は誠実さ」「優れたリーダーは部下に仕事を任せる」など、リーダーシップに自信がなかった自分でも、部下に誠実に向き合い、その主体性を引き出すことで組織をまとめていけそうだと感じさせてくれる内容が書かれています。

この本を通して、自分の強

みが支援型のリーダーシップにあると気づけたおかげで、支店長として支店を運営することに自信が持てるようになりました。

その後、荻窪支店、立川支店と都内の2つの支店で支店長として勤務した後令和4年6月に河口湖支店の支店長として16年ぶりに山梨に戻るようになりました。

河口湖支店長として与えられたミッションは、新型コロナウイルスの影響で業績が悪化した観光業のお客さまの支援でした。河口湖はホテル、土産物店などの観光業が盛んな地域で、コロナが蔓延する前は日本の象徴である雄大な富士山を一目見たいという外国人が押し寄せていました。私が着任した時は外国人の姿を見かけることはほとんどなく、観光業に従事する方々は県民割などの旅行支援策を活用してなんとか凌いでいる状況でした。

令和4年10月に空港などでの水際対策が緩和されると、徐々に外国人が戻ってきました。この時、あるホテルの経営者から、宿泊客の本格的な回復を前に、国土交通省が用意した補助金を利用して老朽化した施設を改修したいという相談を受けた私は、全面的な協力を申し出ます。取引金融機関の意見を聞きたいという補助金担当者との打ち合わせ

に同席したり、補助金で足りない部分を融資するために事前に本部に掛け合ったりして、何とか改修工事を完了することができました。

令和5年5月にコロナの感染症法上の分類が5類に変わると、河口湖にはコロナ前以上に外国人が押し寄せるようになり、私が改修工事をお手伝いしたホテルにも、今は連日多くの宿泊客が訪れています。

都内の支店の仕事も面白かったのですが、この河口湖支店での経験を通じて、地域のために働くという地方銀行の職員としてのやりがいや、醍醐味を改めて感じるようになりました。

現在の勤務先である八王子支店には昨年6月に着任、第二の故郷であるここ八王子で再び仕事ができることに感謝しながら、充実した日々を過ごしています。

昨年入会させていただいたロータリークラブでは、会員の皆様との交流や例会にいらつしやる講師の方の卓話などを通じて、新しい気づきや学びをたくさんいただいております。

これからも、ロータリークラブの活動を通じて、様々な学びを得たいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

最後に八王子と山梨の関係

について少し触れさせてください。

武田氏滅亡後に八王子に移り住み信松院を創建した武田信玄公の四女にあたる松姫様、武田家の家臣から徳川家に転じ、八王子の町を治めた大久保長安、その長安が創設にも関与し甲斐武田家の旧臣の末裔が多く所属していた八王子千人同心など、戦国の時代から八王子と山梨には深いつながりがありました。

その後、江戸時代に入ると八王子は、江戸と甲州を結ぶ甲州街道の最初の宿場町として栄え、その時には生糸、馬、炭など山梨から届く多くの物資が八王子を経由して、江戸の町に届きました。

明治時代に入ると八王子は生糸・織物の町として飛躍的に発展します。物理的な距離が近かった山梨とは職人同士も活発に交流し、一つの経済圏と言っても過言ではないほどの密接な関係が構築されました。私は八王子と山梨の両方に関りがある者として、先人がこれまで脈々と築いてきた両者の縁を大切にしながら、それぞれの地域の発展により一層貢献していきたいと思っておりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございます。

例会報告

第2843回●2025.12.5(金)

◇司会

瀬沼庄次郎会場監督補佐



司会／
瀬沼会場監督補佐

◇開会点鐘 相川 博会長

◇君が代斉唱

◇Rソング 奉仕の理想

◇食事と交歓 100万ドルの食事

◇出席報告

神保好子出席委員長



出席報告／
神保出席委員長

会員119名中75名出席。
出席率66・37%。前々回11月21日の出席率25・89%を62・50%に修正いたします。

◇ニコニコ発表

西村和裕財務委員



ニコニコ発表／
西村財務委員

◇会長挨拶 相川 博会長



会長挨拶／
相川 博会長

*一日、一週間、一ヶ月、一年が

過ぎるスピードに毎年驚いています。

*以前、日本では江戸時代からSDGsを実践していたという話をしましたが、その続きです。実は江戸幕府は今の板橋・練馬・杉並・世田谷のお百姓さんに糞尿を売っていたんですね。ただで渡していたわけではなく、それだけ大事な資源だったわけですね。それにも値段の格差がありまして、江戸城からの1番上です。今日はタイトスケジュールなのでこれくらいにします。今年最後の通常例会の来週は、今でもたった一人で糞尿を使ったSDGsに取り組んでいる人のことを紹介させていただきます。

幹事報告 立花 探幹事



幹事報告／
立花 探幹事

◇幹事報告 立花 探幹事

*前回の例会で新しいピアニストのご紹介をしましたが、本日はもうお一方の林亜華里さんが演奏してくださいました。

*本日は例会終了後に年次総会がありますので、お帰りにならずに残りください。

*国際ロータリー第2750地区で新たなロータリークラブが誕生する旨のご案内をテールに配布しております。来

年2／8開催の設立記念ディナーイベントに参加希望の方は事務局までお問い合わせください。

*テールにはガバナーム月信12月号に掲載のボールハリスフェローのご紹介と、10月末時点での会員数を両面コピーで配布しています。

◇新会員入会式

紹介者代理…榎崎雅彦会員
入会者…上田恵一新会員



上田恵一新会員

◇委員会報告

市川隆国際奉仕委員長

◇三祝

*会員誕生祝(順不同 会員敬称略)

大田吉彦(卒寿)
森 明(米寿)
田辺隆一郎、檜崎 博

測上 安、高橋光康
平沼北斗、松本利子
安藤謙一郎、北澤秀彦
齋藤祥文

*会員令夫人、御夫君誕生祝

城所敬子様 神田和加子様
伊藤彩子様 池田あゆみ様
立花章子様、山本淳子様
榎崎悠里様

*結婚記念祝(順不同 会員敬称略)

八木知祥、北澤誠一
横山 禎、粕谷 良
伊藤弘造

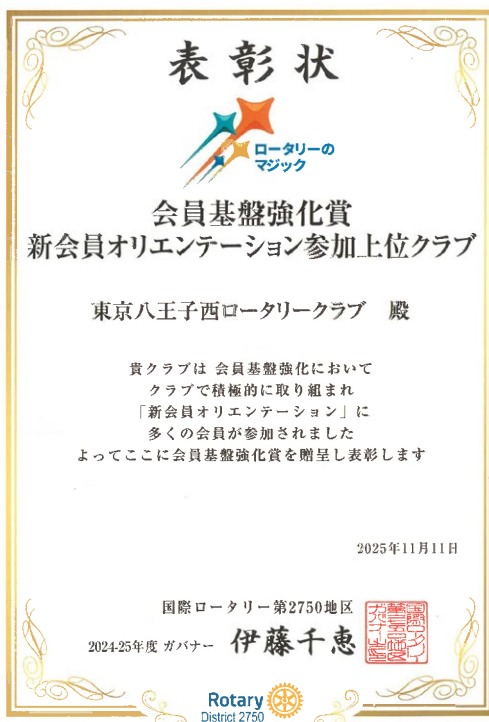
◇スピーカー紹介

顧問正裕プログラム副委員長
スピーカー 加賀美剛会員
テーマ イニシエーション
・スピーチ

◇閉会点鐘 相川 博会長

年次総会

中間決算報告・次年度理事役員について、満場一致で承認



ニコニコボックス

●2025・12・5(金)

◇相川会長・加賀美会員の
ニシエーションスピーチ、
楽しみます。

◇立花幹事・加賀美会員のス
ピーチ楽しみます。本日よ
りもうお一方のピアニスト
林亜華里(あかり)さんが
演奏して下さいます。よろ
しく願います。

◇田辺・誕生祝いいただきま
す。

◇関・神辺・新会員の上田さ
んをよろしくお願い致しま
す。

◇榎崎博・梅田・小澤・齋藤・神
保・久保朝陽・三村・宮原・西
村・末木・長尾・加賀美正裕
君のニシエーション楽し
みです。

◇大田・平沼・誕生祝をいた
だきます。有難う御座いま
す。

◇安藤謙一郎・上田様入会誠
におめでとうございます。

◇榎崎雅彦・上田様入会おめ
でとございます。加賀美
会員のニシエーションス
ピーチ楽しみにしています。

◇磯間・加賀美会員、本日の
ニシエーションスピーチ
よろしく願います。

◇吉森・加賀美会員のニシ
エーションスピーチが
ばってください。

した。本日の加賀美さん、イ
ニシエーション頑張って下
さい。

◇北澤秀彦・三祝ありがとうございます。
ごさいます。

◇山口・上田恵一さんの入会
歓迎します。

◇山本俊明・妻の誕生月です
ので。

◇淵上・結婚記念日お花あり
がとつございました。重ね
て誕生日祝いいただきます。

◇松本・お誕生日のお祝いを
頂きます。ありがとうございます。
加賀美さんニシ
エーションスピーチ頑張
つて！

◇上田・本日、入会させてい
ただきました。ありがとうございます。
ごさいます。よろしくお願
いします。

(順不同・会員敬称略)



十二月三祝 師走 (しわす)

誕生花 カトレア
ストレチア

会員誕生祝

大田 吉彦 90回 (卒寿)

森 明 88回 (米寿)

田辺 隆一郎 85回

榎崎 博 81回

高橋 光康 71回

平沼 北斗 57回

松本 利子 56回

安藤 謙一郎 53回

北澤 秀彦 48回

齋藤 祥文 44回

会員令夫人誕生祝

城所 敬子様

榎田 和加子様

伊藤 彩子様

池田 あゆみ様

立花 章子様

山本 淳子様

榎崎 悠里様

結婚記念祝

八木 知祥 31回

北澤 誠一 26回

横山 禎 22回

粕谷 良 19回

伊藤 弘造 4回

(順不同 会員敬称略)

東京八王子西ロータリークラブ

〒192-0083 東京都八王子市旭町 14 番 1 号 京王プラザホテル八王子 8F

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

<https://www.hachioji-west-rc.org>

会長 相川 博 幹事 立花 探 広報委員会 草間 剛 諸星宗幸 浅川立憲 金子裕二 松島 勝 淵上 安 山本俊明 藤巻 泰



皆様の投稿をお待ちしております。お気軽にお寄せください。

アイデアを上げよう : www.rotary.org